

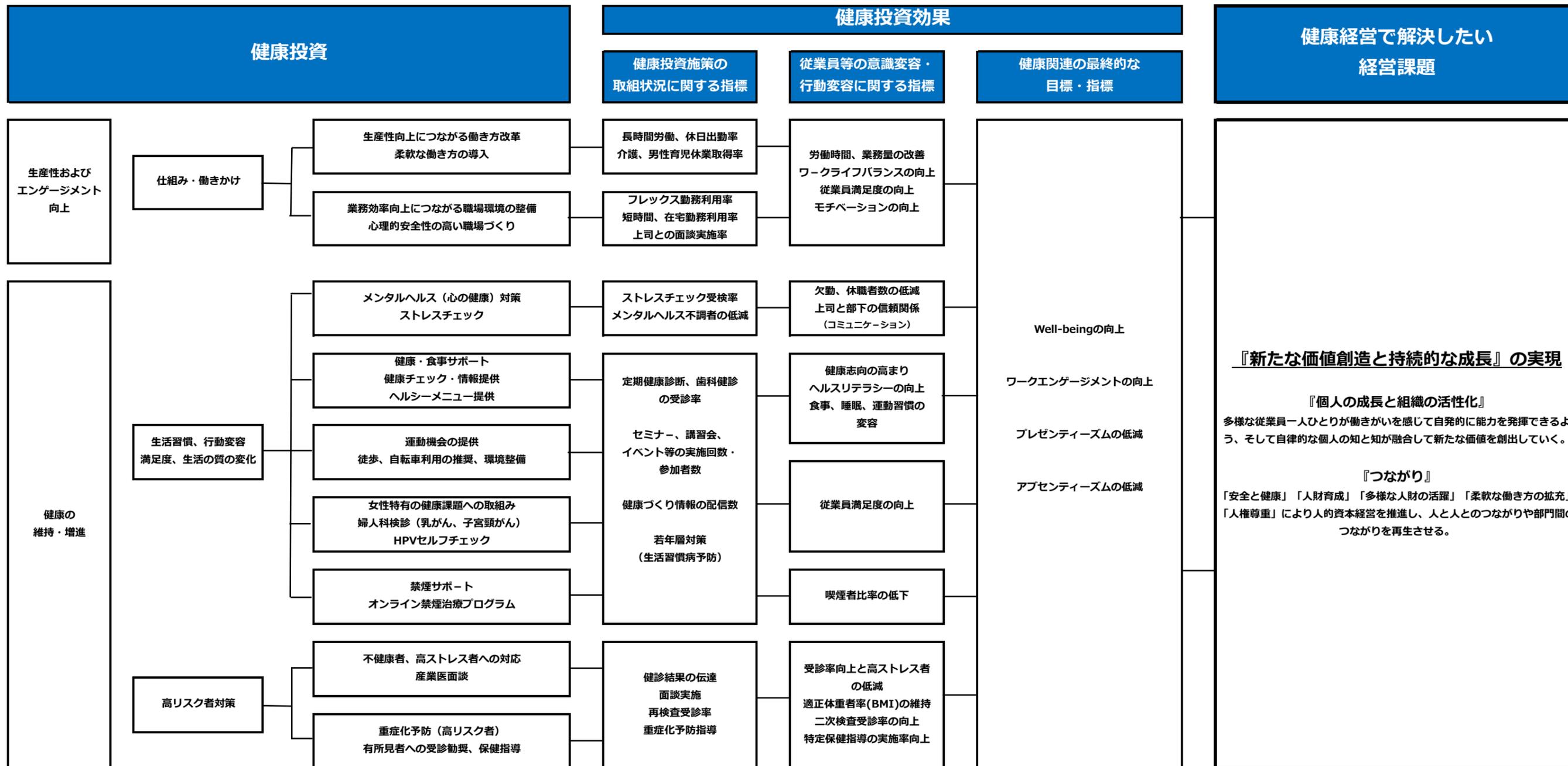
健康投資：従業員の健康を守り・高めることを経営戦略の一環として捉え、積極的に取り組むこと（単なる福利厚生ではなく、企業の持続的成長や競争力強化のための投資）

健康投資施策の取組状況に関する指標：企業が実施している健康投資施策の進捗や実施状況を評価するための指標。企業がどれだけ積極的に健康経営に取り組んでいるかを示すもの。（健康診断の受診率、健康教育プログラムの参加率、健康管理システムの導入状況、健康イベントの実施回数等）

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標：健康投資施策が従業員の意識や行動にどのような影響（変化）を与えたかを評価するための指標。（健康に対する意識の向上度健康的な生活習慣の定着度（例：運動習慣、食生活の改善）ストレス管理能力の向上喫煙率や飲酒習慣の変化等）

健康関連の最終的な目標・指標：健康経営の最終的な成果や目標を評価するための指標。（労働生産性の向上医療費の削減アブゼンティーズム（欠勤）の減少プレゼンティーズム（出勤しているが生産性が低い状態）の減少等）

健康経営戦略マップ



ワークエンゲージメントとは

仕事にやりがいを感じて、熱心に取り組み、仕事から活力を得ている状態。組織を活性化させるために重要な要素といわれています。

プレゼンティーズムとは

出社しているものの、何らかの健康問題によって業務効率が落ちている状況。鼻づまりで頭がボーッとしたり仕事に集中できない、寝不足、頭痛、発熱など。

アブゼンティーズムとは

心身の体調不良が原因で遅刻や早退、欠勤、休職など、業務が行えない状態。関わるチームや組織に影響して、業務効率低下を引き起こすと考えられています。